

平成21年度 審判部総会議事録

記録 審判部 山本

1. 開催日時・場所

平成22年4月18日(日) 12:15~14:00 地域会議室3階・中会議室A

2. 定足数

平成21年度審判部 部員数36名(出席19名、委任状16名、欠席1名)
部員36名中、有効者数が35名で過半数を超えている為、本総会は、“有効”とする。
(今年度で退会が7名の為、平成22年度審判部 部員数は29名となります。)

3. 議長選出

議長選出 石森 勇(東俣野)

4. 議事内容

一号議案 審判部活動報告

1)区民大会に審判員の派遣

- ・線審の“アウト”のジャッジとコールが浸透していない。もっとアウトコールの必要性を説明した方が良い。
⇒各大会や講習会で継続的に指導を行うとともに、改善を検討する。
- ・団体戦でのインプレー中の指示については、イエローカードや退場も含めて指導する。
⇒講習会や団体戦で、インプレー中の指示について指導を行うとともに、改善を検討する。
- ・ダブルスのロングサーブ時、ロングサービスラインの判定は、誰が行うか？
⇒線審が行う。
- ・参考として、審判部の会計報告(収入;審判講習会で¥17,000、支出;日バ登録費、審判員交通費・弁当代、ストップウォッチ、通信費、雑費¥87,898)した。詳細は、バドミントン協会総会で報告。

2)審判講習会の実施

- ・審判講習会は、協会員(初級)を対象に行っている。審判部員に対しては、審判部総会後の勉強会実施。
又、県に対しては、資格取得推進等の3点で進めている。

3)県主催大会

- ・サーバー・レシーバーの誤りは、“C”を記入する。サービス順番を間違えた場合は、その得点の上又は、下に“C”を記入。レシーバーの誤りは、レシーバー欄の上の段に“C”を記入する。

二号議案 審判講習会について ⇒ 新議案2-1、新議案2-2は、承認された。

1)新議案2-1

- ・22年度の審判講習会は、10/23 戸塚スポーツセンターで講義2時間、実技2時間で行う。
初級レベル対象ですが、審判部でも不慣れな方は、講習会に参加しスキルの向上に努めてください。
- ・本年度の講習会資料は、多岐にわたり記載されていた為、スコア記入・コールを初級対象に簡略化した方が良いのでは？
⇒ 初級向けに資料を改善する。(現状、初級から県派遣での1ポイントアドバイスも含んでる)
- ・審判部総会後の勉強会は、ケーススタディをベースに実施考えている。

2)新議案2-2

- ・希望クラブがあれば、クラブに出向き審判講習会を実施する。

三号議案 日バ登録料について ⇒ 新議案3-1は、承認された。

1)新議案3-1

- ・県・区の活動に協力した人を対象に日バ登録費を支払う。(計画的な継続更新を目的としている)
⇒承認された為、個人登録する方(15名)に登録費を支払う。
又、協会で登録する14名は、審判資格更新手続きと一緒に進行。

四号議案 ⇒ 新議案4-1、新議案4-2、新議案4-3は、承認された。

1)平成22年度審判員年間予定表(案)について : 新議案4-1

- ・一部日程調整要求及び、今年度で7名の退会者がいる為、年間予定表を修正し、HPに更新する。
⇒小林さん(会長杯)、川嶋さん(団体戦)、梅津さん(オープン大会)下村さん(会長杯⇒ミックス大会)の追加修正を行う。
- ・会長杯以外、審判員3名だと、試合参加する審判員もいるので、主審や線審の指導が出来ない。
⇒協会役員も対応する為、現状、3名としている。審判部員全員が、1年間に1回は活動する様に、人員追加を含め、検討する。

2) 審判技術向上 : 新議案4-2

- ・各大会で不慣れな人にコールの仕方・スコアの記入のダイジェスト版を作り配布する。
⇒各位の意見等を折込み改善し、HPに掲載する方向で検討する。
ex.トスで負けた方の選択権やバドミントン用語の説明も初級者には必要との意見有り。

3) 3級資格取得講習会 : 新議案4-3

- ・審判資格取得希望者を募り、8~15名程度の集まれば戸塚区で実施する。

その他

- 1) 今年度は、線審について大会プログラムでPRした。ルール知識向上のため、大会プログラムで毎回違うワンポイントアドバイス掲載することを検討する。
⇒協会と相談し対応する方向で検討する。知りたい内容や掲載した方が良いと思う内容があれば、項目を山本に連絡願います。
- 2) 赤本購入の取り扱いをしてほしい。
県バドミントン協会からの購入の為、時間がかかって良ければ対応する。
- 3) 勉強会を行う時間が無かった為、準備したケーススタディを配布。又、主審をしての疑問点に対する質問に回答した。
 - ・線審及び、主審がインアウトが判断できなかった時、両サイドのプレーヤーがアウトといった場合、アウトの対応で良いか？
⇒線審及び、主審がインアウトが判断できなかった場合は、“レット”とする。監督や選手のジャッジを鵜呑みにしてはいけない。
 - ・サービスジャッジがない場合、ショートサービスがアウトの場合、主審は“アウト”又は、“フォルト”コールするか？
⇒インの場合は、ポイントコール、アウトの場合はサービスオーバー、ポイントコールするが正しいと考える。
(通常、判定がきわどい場合には、アウトのコールや手で合図している人が多い。)
- 4) 22年度は、3級審判資格更新が27名おり、21名が協会ですべてまとめて審判資格更新を行う。
- 6) 今年度で中町さんが審判部を退任する。2年間お疲れ様です。
今後は、鈴木さんが審判部事務局としてサポートして頂く。